

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-2-1	事業名	幼児教育の振興を図る新たなしくみの構築
担当	教育委員会学校教育推進課企画担当 中津 211-3838		教育委員会学校教育推進課幼児教育センター担当 北 671-3220
全体計画			
事業内容	<p>少子化・都市化・核家族化の進行による幼児を取り巻く環境の変化や、保護者の幼稚園教育に対するニーズの多様化、幼児人口の減少等による公・私立幼稚園全体での定員割れの状況などを踏まえ、17年12月に「札幌市幼児教育振興計画」を、この内容を計画的かつ段階的に検討するため、18年12月に「札幌市幼児教育振興計画アクションプログラム」を、また、これらを元に20年2月、幼児教育の水準向上を図るため、具体的取り組みを示した「札幌市の幼児教育振興を図る新たなしくみづくり(以下、「実行計画」という。)」を策定した。</p> <p>この実行計画では、幼稚園教育の質的向上を図るため、幼稚園教育に関わる私立幼稚園、市立幼稚園、札幌市の三者が新たなしくみを構築することとしており、このしくみの中核的な役割を担う「札幌市幼児教育センター」を20年4月に設置し、本市の幼稚園教育の提供主体である私立幼稚園と市立幼稚園、各幼児教育関係機関との緊密な連携体制を構築する。なお、幼児教育センターの運営推進に向け、「札幌市幼児教育推進協議会」を20年6月に設置し、行政関係者だけでなく、幼稚園関係者などを含む協議を行っている。併せて、市立幼稚園は、各区に1園配置して、区ごとに私立幼稚園と連携しながら、幼稚園教育に関する実践研究を充実し、幼児教育センターの補完的役割も担う。</p>		<p><年度別の事業内容></p> <p>幼児教育の振興を図る新たなしくみを構築する。</p> <p>【19年度】 私立幼稚園連合会と教育委員会が今後の幼稚園教育に関する施策を協議するため、札幌市幼児教育推進協議会を設置する。「札幌市の幼児教育振興を図る新たなしくみづくり」を策定する。</p> <p>【20年度】 札幌市幼児教育センターを設置する。 ・新たなしくみを構築するため、試行的な事業を実施し検証する。</p> <p>【21年度以降】 幼児教育センターを補完する役割を担う市立幼稚園の研究実践園化。(10園) 札幌市幼児教育センター機能の充実 幼児教育振興を図るための新たな施策 ・幼稚園就園のため、保護者への情報提供の一つとして、評価制度を構築する。 ・札幌市の財政状況を踏まえ補助制度の再構築を行う。</p>
			事業内容
事業場	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)
	<p>幼児教育センター関係事業費 【研究事業】 1,757千円 幼稚園教育要領に基づく課題など、様々な研究課題についての企画調整、特色ある研究推進、成果の私立との共有化など。 【調査・情報提供】 1,070千円 幼児教育に関する実態把握や、情報蓄積、提供など。 【研修事業】 2,599千円 私立と連携した教員の資質や専門性の向上を図る研修など。 【教育相談・支援事業】 2,009千円 幼児教育に関する家庭・地域、幼稚園などの相談・支援など。 【保護者等啓発支援事業】 2,259千円 子育て支援や幼児教育に関する啓発など。 【幼児教育推進】 3,806千円 評価や幼保小連携、幼稚園教育質的向上のための取組など。</p>		
事業量			
事業場			
事業所			
規模			
案件数			
等級			

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	1-2-1		事業名	幼児教育の振興を図る新たなしくみの構築			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
(仮称)札幌市幼児教育センター[正式名称:札幌市幼児教育センター]の開設	-	設置	開設			開設 (20年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 新たなしくみで得られた成果や情報を、札幌市全体へ広く提供することで、家庭や地域における幼児教育の重要性に対する理解が図られ、保育所や子育て支援関係者、地域の未就園児の保護者などを含む、0歳児から就学前の幼児の教育に携わる様々な人々の教育力の向上につながり、本市全体の幼児教育の水準向上が図られ、将来の札幌を担う幼児の豊かな育ちを保障することができる。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<p>札幌市全体の幼児教育の水準向上を図るため、各区の研究実践園の機能を統括し、私立幼稚園との連携を進める中核的役割を担う「幼児教育センター」を札幌市教育センター内に開設。(20年4月設置)</p> <p>幼児教育センターの運営推進に向け、「札幌市幼児教育推進協議会」を20年6月に設置し、私立幼稚園関係者とともに協議を行ない施策を進めている。(19年6月設置) 推進協議会 3回開催 検討委員会 3回開催</p> <p>札幌市幼児教育センターは、推進協議会等での協議を基に、私立幼稚園と市立幼稚園の連携研究モデル事業、私立幼稚園教員を主とした教員研修の充実など、私立幼稚園・公立幼稚園の連携の基盤づくり及び市立幼稚園の研究実践園化に向けた取組みを実施した。</p>			<p>幼児期は基本的な生活習慣をはじめとした人間形成の基礎が培われる重要な時期であり、この時期の幼児教育は、子どもの心身の健全やかな成長を促す上で極めて重要な意味がある。近年は少子化や核家族化など、社会状況の変化により、子どもたちをとりまく環境が大きく変化していることから、幼稚園はこれらの変化に適切かつ速やかに対応し、質の高い幼稚園教育を提供する必要がある。</p> <p>また、幼児教育の推進に当たっては、幼稚園、家庭、地域の三者が、それぞれ有する教育力を発揮し、連携しながら、子どもたちの健全やかな成長を支えることが求められている。</p> <p>併せて国においても、平成18年度に教育基本法の改正、平成19年度に学校教育法を含む教育三法の改正、平成20年度に幼稚園教育要領の改訂があり、学校教育における幼稚園教育の重要性が改めて位置づけられたところである。</p> <p>なお、本市では、園児数の9割以上が私立幼稚園に通っており、幼児教育の大半を担っていることから、私立幼稚園とのより緊密な連携が必要である。</p> <p>また、私立幼稚園においては、発達障がいを含む特別な支援を必要とする幼児への対応に苦慮している園もあることから、支援体制の構築が求められる。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>幼児教育センターを補完する役割を担う市立幼稚園の研究実践園化を図る。(10園) 札幌市幼児教育センター機能を充実する。 ・幼稚園教育の解決すべき課題を研究するため研究機能を強化。 ・教員の資質向上を図るため幼稚園の教員への研修内容などを見直す。 ・保護者や幼稚園教員などへの教育相談・支援機能を充実。 ・ともに就学前児童を対象とする幼稚園と保育園の連携を強化。 ・小学校との接続を意識し、より緊密な幼小連携を行う。 ・家庭や地域の教育力向上のため、幼稚園が子育て支援など啓発支援を行う。 幼児教育振興を図るための新たな施策 ・幼稚園就園のため、保護者への情報提供の一つとして、評価制度を構築する。 ・札幌市の財政状況を踏まえ補助制度の再構築を行う。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		1-2-1			事業名	幼児教育の振興を図る新たなしくみの構築					
事業費の推移											
		項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計			
計画	事業費	事業費		-	-	-	-	-			
		財源内訳	国・道	支出金							
			市	債							
			その他の								
予算	事業費	事業費		6,598	19,824	19,682	-	46,104			
		財源内訳	国・道	支出金	0	0	0		0		
			市	債	0	0	0		0		
			その他の		37	27	28		92		
実績	事業費	事業費		6,677	18,751	-	-	25,428			
		財源内訳	国・道	支出金	0	0			0		
			市	債	0	0			0		
			その他の		27	27			54		
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)									-
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
(全体)											
[19年度]											
[20年度]											
[21年度]											